

第4回くろいし短歌 入選者名簿 応募者／79名 作品／133首

一般の部(黒石詠) 選者名(成田光雄)

- 最優秀賞 (氏名)加賀谷 富美子(黒石市)
- 黒石を選びて住みたる二十年 水、米、出湯みんなあつまし
- 優秀賞 (氏名)小野 みゆ(東京都足立区)
- 初任給おろして父とカウンタ一つゆ焼そばに七味ひとふり
- 優秀賞 (氏名)近江 董花(滋賀県大津市)
- 小気味良き津軽手踊りじょんからを舞う踊り手に心じゃわめく
- 優秀賞 (氏名)赤坂 千賀子(弘前市)
- 幾度来し浄仙寺仁王像威嚇の形相いまは親しき

- 秀 逸 (氏名)有馬 セツ工(青森市浪岡)
- 黒石の幾百年を知る松の木は交流の館に映える
- 秀 逸 (氏名)中井 希紫子(弘前市)
- 飢饉には蔵を開きし英断の言れの黒石藩は五千石
- 秀 逸 (氏名)中村 あやめ(弘前市)
- 洗はれし心にしばし留めむと中野のもみぢふり返り見る
- 秀 逸 (氏名)檜森 てい(黒石市)
- しと口なる雁木回廊めぐらせる新図書館にとぎめきて入る

- 佳 作 (氏名)山本 透青(青森市)
- 黒石の山実のりんごが一番と農婦はひとつ挽きてくれたり
- 佳 作 (氏名)林 昭雄(弘前市)
- 指先に魂を込めじょんからを踊る少女ら鼻すぢ白く
- 佳 作 (氏名)伊藤 一男(埼玉県草加市)
- 黒石を離れて遠き六〇年ことしも届く米「まっくへう」
- 佳 作 (氏名)小田中 準一(千葉県市川市)
- みやげには津軽こけしと決めていたキリッとした顔孫によく似て
- 佳 作 (氏名)島田 興三(黒石市ちとせ1-146)
- 前町の古書売る店に古書買わずジャズ聴き入り青春の夢見る
- 佳 作 (氏名)佐藤 宏子(深浦町)
- 知り合ひの子の仲人を引き受けて向かいし黒石の穏やかさに逢う

第4回くろいし短歌 入選者名簿 応募者／80名 作品／134首

一般の部(自由)詠 選者名(中村 キネ)

- 最優秀賞 (氏名)藤田又美子(弘前市)
- 錦秋のひと日言葉を紡ぎ合ふスパンと世界変へ得るやうに
- 優秀賞 (氏名)赤坂千賀子(弘前市)
- 店先にキュウリ一本九十八円わが菜園の夏が恋しい
- 優秀賞 (氏名)木村 美映(青森市)
- 雪しまくこみせ通りを眺めつつつゆやきそばに胡椒をばらす
- 優秀賞 (氏名)近江 董花(滋賀県大津市)
- こんなにも月が大きく照らす夜は位牌の父と新酒一献

- 秀 逸 (氏名)戸沢大二郎(五所川原市)
- 今朝着ぎし第一陣の白鳥が刈田に群れて落ち穂啄む
- 秀 逸 (氏名)山本 透青(青森市)
- 藍深く咲きたる今朝の朝顔を妻と数へて百を超えたり
- 秀 逸 (氏名)島田 興三(黒石市)
- 「栄養液」となりて久しき病む妻がゼリー食べればあがる喚声
- 秀 逸 (氏名)今北まなみ(兵庫県宝塚市)
- 鬼の棲む山へ湧き水汲みにゆく新米炊いて茶を沸かしをり

- 佳 作 (氏名)吉田 紫紅(大分県別府市)
- もみじ葉を拾って見せるよちよちの子の足元に広がる錦
- 佳 作 (氏名)高田 明洋(埼玉県春日部市)
- 敬老の日に届きたる初孫の葉書のさても道化の変顔
- 佳 作 (氏名)伊藤りゅう(黒石市)
- リストフをされし木の葉が風に舞ふ力サカサ道をかけぬけてゆく
- 佳 作 (氏名)檜森 てい(黒石市)
- うつし世のわかれの言葉「ありがとう」百六歳の婆様あつばれ
- 佳 作 (氏名)白戸 コキ(平川市)
- 朝夕の涼しくなりて味の増す夕餉によく合う茄子汁の味
- 佳 作 (氏名)佐藤 宏子(深浦町)
- お父さんが「湯(ゆ)湯(ゆ)湯(ゆ)湯(ゆ)」の作家だと聞き同期の人を思いぬ

第4回くろいし短歌 入選者名簿 応募者／809名 作品／815首

学生の部(黒石詠) 選者名(端田ゆひか)

- 最優秀賞 (氏名)長谷川潤奈(黒石高校) 2学年)
- 下を見て歩くといつも目が合うの黒石だけのこけしマンホール
- 優秀賞 (氏名)高橋凜(弘前東高校) 3学年)
- りんご園手が届きそつあの里に静まる夜にりんごの香り
- 優秀賞 (氏名)佐々木望夏(黒石中学校) 3学年)
- 大雨で浅瀬石川がごとこに見なれた景色アマゾンになる
- 優秀賞 (氏名)加賀谷泰徳(黒石小学校) 6学年)
- 放課後は今すぐやるよ宿題を集中できる新図書館で

- 秀 逸 (氏名)稲葉優那(青森山田高校) 3学年)
- 母と行く黒森山の山寺でほろ苦さ残る珈琲の香
- 秀 逸 (氏名)伊藤絆乃(六郷小学校) 5学年)
- 見つめあう何を見てるのこけし達話かけてもただ笑っただけ
- 秀 逸 (氏名)村上英里菜(黒石高校) 3学年)
- 三味線と共に響いた夕立の雨轟々と黒石よされ
- 秀 逸 (氏名)中村さくら(黒石小学校) 6学年)
- 夏の夜を明るく照らすねぶたの火囃子と共に歩いてゆくよ

- 佳 作 (氏名)稲葉 光希(藤崎中央小学校) 4学年)
- しゃみ線の低い音がひびいてる伝しよつ館でこけしも笑つ
- 佳 作 (氏名)中井結衣子(弘大附属中学校) 1学年)
- こけし館でつくった孫の手でつべんのこけしの顔に祖母をえがいた
- 佳 作 (氏名)滝川 昊(弘前東高校) 1学年)
- 水たまりパシャパシャ跳ねる白黒の小鳥のさえずりセグロセキシ
- 佳 作 (氏名)山中尊護(黒石高校) 1学年)
- 黒石の駅のホームに立つこけし笑顔届ける町のアイドル
- 佳 作 (氏名)高橋慶次(東英小学校) 5学年)
- 温泉の湯気ゆらゆらとゆれる里もみじもきれいほくのふるさと
- 佳 作 (氏名)中井太陽(弘大附属小学校) 3学年)
- 麦わらの一味になったポッコロへつはけはルフィの弟だた
- 佳 作 (氏名)横道 玄(山口県光井小学校) 6学年)
- キャンプする時の明かりと同じかな青荷温泉のランプの明かり

第4回くろいし短歌入選者名簿 応募者／808人 作品／814首

学生の部(自由詠) 選者名(森内勇治)

- 最優秀賞 (氏名)石川胡桃(慶應義塾湘南藤沢高校) 3年)
- 作品「友の声聞こえぬころまで泳ぎ水平線の一点になる」
- 優秀賞 (氏名)平塚花音(黒石高校) 2年)
- 作品「先輩の使った机に書かれてた落書きにそっと返事を残す」
- 優秀賞 (氏名)石井実羽(黒石高校) 1年)
- 作品「父の日にあげるネクタイ手にとって電車にゆれる里帰り」
- 優秀賞 (氏名)勝浦碧空(黒石高校) 2年)
- 作品「「がんばれ」と微笑み言った祖父からの 残してくれた最後のエール」

- 秀逸 (氏名)白戸慈一(黒石小学校) 6年)
- 作品「兵えぎにいつてしまっよ ママの推しSNSで情報しゅうしゅう」
- 秀逸 (氏名)澁谷望乃(黒石高校) 1年)
- 作品「恋人がほしいと笑う君のこと 私じゃだめと聞けぬこの夏」
- 秀逸 (氏名)小池弘実(大阪大学) 2年)
- 作品「笑つのが朝よりつまくなっている鏡の前で化粧落とすとき」
- 秀逸 (氏名)浅原美波(黒石高校) 3年)
- 作品「こぎん刺し心をこめて刺し進む幾何学模様布地にひろがる」

- 佳作 (氏名)葛西紗矢(黒石高校) 2年)
- 作品「これどそのそくで見えるおすそ分け笑顔のループ」近所付き合ひ」
- 佳作 (氏名)高橋ねね(黒石高校) 3年)
- 作品「なにげなくスマホで撮った祖父の顔今は大事な私の宝」
- 佳作 (氏名)福岡聖南(東英小学校) 6年)
- 作品「ねこ達の自由すぎる生き方を体験したいそう願う日々」
- 佳作 (氏名)中村ほか(六郷小学校) 5年)
- 作品「きりぎりすこえがきこえるきらいだなこえの宝石工場みたい」
- 佳作 (氏名)伊澤奈々乃(岩沼中学校) 2年)
- 作品「田んぼのそばにこんぼの眼鏡と目が合った教えてくれる夏の始まり」
- 佳作 (氏名)菊池莉子(黒石高校) 2年)
- 作品「晩ご飯ついでに思っ大変さ 毎日母に感謝忘れず」
- 佳作 (氏名)木村依菜(黒石高校) 2年)
- 作品「三年間表情見えぬマスク下笑顔が見える日が来てほしい」